令和2年度11月号 令和2年11月20日発行 荒川区立尾久八幡中学校 校長 近江 貞之

## —これからの時代に求められる学校を目指して 第3弾— 運動会種目の創造

校長 近江 貞之

本校はお陰様で、好天に恵まれた | 0月24日(土)、第58回運動会を各家庭 | 名の参観という制限を設けさせていただき、保護者の皆様のご協力で無事に実施できました。区内中学校では、運動会を中止した学校が | 校、保護者見学なしの学校が 4 校、一部の種目で3年保護者のみの参観が | 校、4 校は保護者の参観に何らかの制限を設けての開催でした。

三密を避けるために、運動会の演技内容も変更いたしました。演目では、男子の集団行動、女子のソーラン節を中止しました。入場行進の中止、各種目の退場方法を変更しました。退場門を設けず、保護者席を変更するなど会場設営を工夫することにより、生徒席をさらに余裕をもって設定することができました。また、ゼッケンなど一度身に付けた用具は使用せず、生徒席ではマスク着用の励行を指導し、各学級に手指消毒用アルコール | 本を設置しました。このように運動会実施に向けて、工夫を重ね、準備をしました。

そのような状況の中で、少しでも上位になる目的に向かって、各学級が出場種目に工夫を凝らして挑戦していました。大切なことは、学級で工夫を凝らし、戦略を立て、合意をしたことに全員が努力することです。勝敗や順位は必ず付くものですが、どの学級も団結を深めるためによく努力しました。

3年生は、学年種目をソーラン節に変更し挑戦しました。担当生徒が早朝に集まり、約 1ヶ月をかけ検討を進めていました。コロナの影響下でも伝統を守りながら新しい種目を 創作することに努力していました。

マイナスのことばかりを目の当たりにしている日常から、運動会に向けて、各学年ともに伝統を守りながら新しいものを創り出す、工夫を凝らし前年度以上のものを求める姿勢が随所でありました。これからの社会で求められるイノベーションに当たるものと考えています。マイナスの環境下からプラスを生み出す八幡中生の行動力がありました。

自粛を求められた時は、メールなどの大切さを実感した一方で、運動会では思いをバトンやたすきに込める、目標に向かって人と人との直接のつながることの大切さを改めて実感することになりました。「人と人とのつながりを大切にする心を育む」ことは、学校の大きな役割であることを再確認する機会になりました。

運動会当日は、八幡中生の頼もしい、そして、清々しい姿が区民運動場一杯にあふれていました。積み上げてきた努力を成果に変えられる運動会を実施できたと考えています。

入場制限にご協力くださいました保護者の皆様、法被をお貸しくださいました町会の皆様のお力添えがあったからこそ実現できたと改めて感謝申し上げます。

来年度は、例年のようにご来賓の皆様を含め I O O O A を上回る学校関係者の皆様もご来場いただける運動会ができることを願っています。また、その時にはこれからの時代に求められる学校へと『一歩前進した八幡中』をご覧いただけるように、今後も日々の教育活動を推進してまいります。



## 🛓 運動会 午前の部























## 🎍 運動会 午後の部

















運動会シンボルマーク







表彰式



	I 2月行事予定	給食
日(火)	遠足 [6組Ⅰ・2年] 専門委員会	0
2日(水)	三者面談始[3年] 荒教研	0
3日(木)	三者面談始[1・2年]	0
4日(金)	職場実習終[6組3年]	0
5日(土)		_
6日(日)		_
7日(月)	学年朝礼[ 年]	0
8日(火)	三者面談終 [3年]	0
9日(水)	三者面談終 [  ・2年]	0
10日(木)		0
日(金)	避難訓練	0
12日(土)	土曜授業	_
13日(日)		_
4日(月)	学年朝礼[3年]	0
5日(火)	学校給食運営協議会	0
6日(水)	職員会議	0
I 7日(木)	学校評議員会	0
18日(金)	区学力向上のための調査 読書マラソン終	0
19日(土)		
20日(日)		_
2   日 (月)	学年朝礼[2年]	0
22日(火)		0
23日(水)	校内研修会	0
24日(木)		0
25日(金)	終業式 大掃除	×
26日(土)	冬季休業日始[~ 月7日(木)]	_

◆今年度の運動会について、ご意見やご感想を、担任を通じて学校までお寄せください!